

開発課題 2-1 (小目標)	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考						
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度									
保健医療サービスの向上	島嶼型保健医療プログラム	無償資金協力で建設をした「バイオラ病院改善整備計画」の効果的な活用に向け、課題別研修を通じて病院管理や施設・機材の維持管理を実施する。また、草の根技術(東京農大案件)、研修等の連携を通じて、NCDs対策等への支援を行い、健康教育の促進を図る。新型コロナウイルス対策に資するサーモグラフィカメラや当国の医療体制強化を図る医療機器の供与を実施する。	保健医療分野の課題別研修及び青年研修	課題別研修他								3	2件						
			基礎保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.10	3	1件						
			経済社会開発計画	無償							1.50	3	保健・医療分野						
			新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト	技プロ							5.50	3							
			大洋州地域 途初保健システム構築のための連携強化プロジェクト	技プロ							9.40	3	複数対象国のため累計額を記載						
開発課題 2-2 (小目標)	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考						
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度									
					当該分野では、課題別研修を通じて、そらばんの普及を含め、算数能力の改善を目指したソフト面での支援を実施する。また、日本語教育、情報教育、就学前教育、総合教育等の分野への支援も継続する。教育インフラの改善については、草の根無償での取組を継続する。	トンガ国「特定技能」人材の活用に向けた教育スキーム構築のための案件化調査	案件化調査											4, 8	
					SDGsグローバルリーダー	長期研修											4		
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.10	4	1件						
			教育分野の課題別研修	課題別研修他								4	1件						
開発課題 2-3 (小目標)	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考						
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度									
					地方・離島及び都市部がバランスよく発展し、地方・離島の資源を持続的に活用していくため、農業等産業振興、中小企業振興等の分野における草の根技術(東京農大案件)、研修員の受入等を行い、地方・離島部の生活環境改善、技術者育成による生計向上等を支援する。	ブレッドフルーツの有効利用と新規加工品開発による生計の生計向上と健康改善	草の根技術協											3, 9, 12	
					SDG14に基づく大洋州における海洋資源の持続可能な開発及び資源管理における能力強化プロジェクト	技プロ										2.16	14	複数対象国のため累計額を記載	
			無償資金協力によるインフラ整備、特に主力輸出品である第1次産品の円滑な輸送を実現するための全国の道路舗装に必要なアスファルト・ディストリビュータトラック、大型コンテナ船への対応力の強化を促進するためのタグボートを供与する。また将来的な案件候補として、GDPへの貢献が大きい観光業への影響を考慮し、玄関口であるフアアツ国際空港の改善支援を検討する。それとともに、課題別等研修により、施工管理・維持能力の向上を図る。財政面では債務管理アドバイザーの派遣を決定し、対外債務の返済を実現するための体制作りを支援する。	インフラ及び行政分野の課題別研修及び青年研修	課題別研修他								9, 11, 17						
			経済社会開発計画	無償							1.00	9	インフラ分野						
			経済社会開発計画	無償							10.00	9	インフラ分野						
			港湾運営・維持管理政策アドバイザー(広域)	個別専門家								9	広域(フィジー拠点)						
			大洋州地域 船舶運営・維持管理アドバイザー(広域)	個別専門家								9	広域(フィジー拠点)						
			債務管理アドバイザー	個別専門家								17							

【凡例】 「協カ」(=全ての協カ準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協カプロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協カ)、「個別専門家」(=個別専門家)、「個別機材」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修)、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「現地国内研修」(=科学技術協カ(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技術協」(=草の根技術協カ)、「OCV協カ」(=外務省・JICA以外の方及び独立行政法人等が実施している技術協カ)、「民間提案型技術協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協カ)、「水産無償」(=水産無償資金協カ)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協カ)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協カ)、「緊急無償」(=緊急無償資金協カ)、「日本NGO」(=日本NGOの協カ)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協カ)、「借債」(=借債)、「海外研修」(=海外研修)、「情報収集調査」(=基礎情報収集)、「確認調査」(=確認調査)、「中小企業・SDGsビジネス支援事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業)、「基礎調査」(=基礎調査)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証」)、「実証」(=実証)、「破綻」(=破綻)、「---」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当根拠を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「健康」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」。
【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf